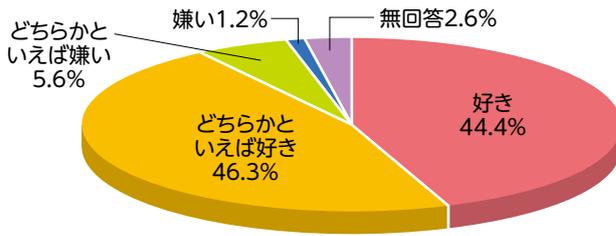


あなたの声をまちづくり

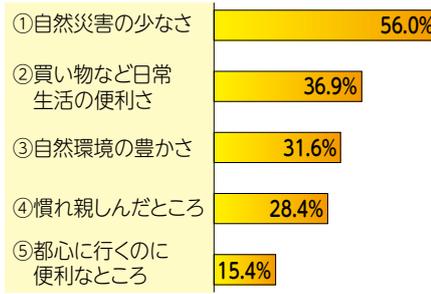
「市政に関する世論調査」は、市民の皆さんが市政や生活環境についてどのように考え、何を望んでいるのかを把握し、これからの市の施策に役立てるために、毎年実施しています。今回は、その結果の一部をお知らせします。調査に当たり、多くの皆さんにご協力をいただき、ありがとうございました。

市に対する感じ方

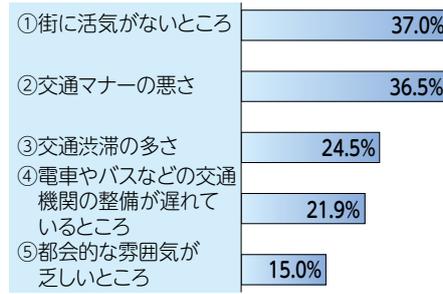
質問 宇都宮市を好きですか。それとも嫌いですか。



😊 好き／どちらかといえば好き90.7%



😞 嫌い／どちらかといえば嫌い6.8%



▽好きな理由のトップが、「自然災害の少なさ」(56.0パーセント)で、昨年調査(53.7パーセント)から増加しています。これに「買い物など日常生活の便利さ」「自然環境の豊かさ」「慣れ親しんだところ」と続き、今回は5位に「都心に行くのに便利なところ」が入りました。

▽嫌いな理由のトップが、「街に活気がないところ」(37.0パーセント)で、昨年調査(39.4パーセント)から減少しています。これに「交通マナーの悪さ」「交通渋滞の多さ」「電車やバスなどの交通機関の整備が遅れているところ」「都会的な雰囲気が乏しいところ」と続いています。

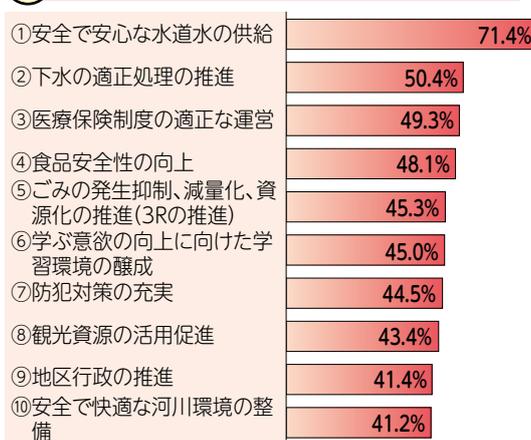
市の取り組みについての満足度

質問 現在、宇都宮市が行っている取り組みについて満足しているかお聞きます。

それぞれの取り組みごとに、最も当てはまるものを、次の1~5から選んでください。

1.満足 2.やや満足 3.やや不満 4.不満 5.わからない

😊 満足度(満足/やや満足)の合計 (上位10項目)



▽現在の市の取り組みについて、どのように感じているか、「第5次総合計画」に掲げる84項目の施策について、その満足度を聞いたところ、「安全で安心な水道水の供給」(71.4パーセント)が7割を超えました。次いで、「下水の適正処理の推進」(50.4パーセント)、「医療保険制度の適正な運営」(49.3パーセント)と続いています。

世論調査の方法と調査項目

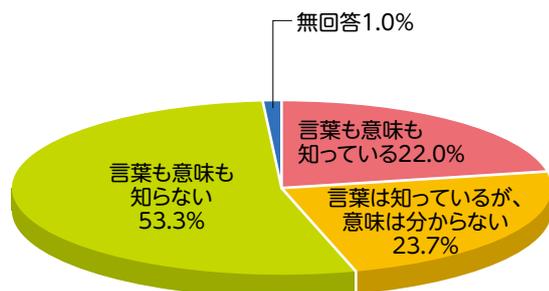
■対象 満20~79歳の日本国籍を有する市民4,800人。住民基本台帳から無作為に抽出。■調査方法・期間 郵送。平成26年7月10~31日。■有効回答数・率 2,429件・50.6パーセント。■調査項目 「市に対する感じ方」「広報媒体の活用状況」「男女共同参画」「COPD(慢性閉塞性肺疾患)・CKD(慢性腎臓病)」「ロコモティブシンドローム(運動器症候群)」「自転車の利用促進」「もったいない運動」「家庭の日」「中央卸売市場の一般開放」「宇都宮市産の農畜産物」「がん検診の受診状況」「オープンデータの公開」「健康づくり」「生物多様性」「生涯学習」「市政情報コールセンターとよくある質問」「特別支援教育」「住宅用火災警報器」。項目別集計の他、性別・年齢・職業・家族構成・居住年数・居住地域別の分析を実施。また、「市の取り組みについての意識」の調査・分析や、各基本施策の満足度・重要度などを併せて実施。

◎集計の合計は、四捨五入や複数回答により、100パーセントにならない場合があります。

◎市政に関する世論調査の詳しい内容や結果、分析をまとめた「市政に関する世論調査結果報告書」は、行政情報センター(市役所1階)、または市ホームページでご覧になれます。

CKDについて

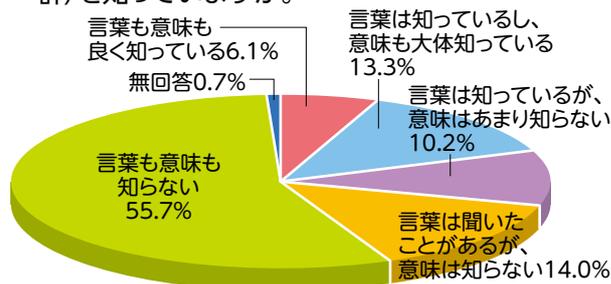
質問 あなたはCKD(慢性腎臓病)を知っていますか。



▽「CKD(慢性腎臓病)」の認知度について、「言葉も意味も知らない」が53.3パーセントと最も多く、次いで、「言葉は知っているが、意味は分からない」が23.7パーセント、「言葉も意味も知っている」が22.0パーセントと続いています。

ロコモティブシンドロームについて

質問 あなたはロコモティブシンドローム(運動器症候群)を知っていますか。



▽「ロコモティブシンドローム(運動器症候群)」の認知度について、「言葉も意味も知らない」が55.7パーセントと最も多く、次いで、「言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない」が14.0パーセント、「言葉は知っているし、意味も大体知っている」が13.3パーセントと続いています。

ミヤリーの一口メモ

ロコモティブシンドローム(運動器症候群)は、骨・関節・筋肉などの運動器の障がいのために日常生活に支障をきたし、寝たきりになる危険が高い状態になることをいいます。よくつまずく、ゆっくりしか歩けなくなったなど、足腰が弱ったと感じるようになったら、ロコモティブシンドロームの始まりかもしれません。ロコモティブシンドロームを予防するためには、若いころから体をよく動かす習慣をつけることが重要です。

CKD(慢性腎臓病)は、腎臓の働きが慢性的に低下していくさまざまな腎臓病の総称で、日本人の成人の8人に1人がかかっているといわれています。CKDは生活習慣が深く関わっており、CKDを予防するた

めには、バランスの良い食事、運動不足解消、禁煙などの生活習慣の改善が重要です。

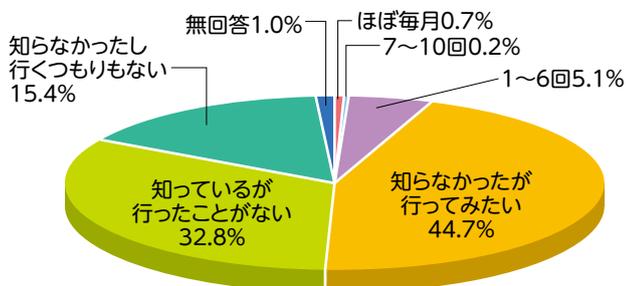
市では、これらの予防に関する催しを開催しています。ロコモティブシンドロームについては8ページを、CKDについては11ページをご覧ください。

また、市内大学生が地域の課題について調査や実践活動を踏まえてまとめたまちづくり提案でも、宇都宮大学大森研究室チームTの皆さん(代表高根澤瑠美さん)が、「食を通じた働き盛り世代応援プロジェクト」として、生活習慣病を予防するためのポイントを書いた栄養シートを作成して、コンビニやスーパー、職場に貼るなどの提案をしています。詳しくは市ホームページをご覧ください。



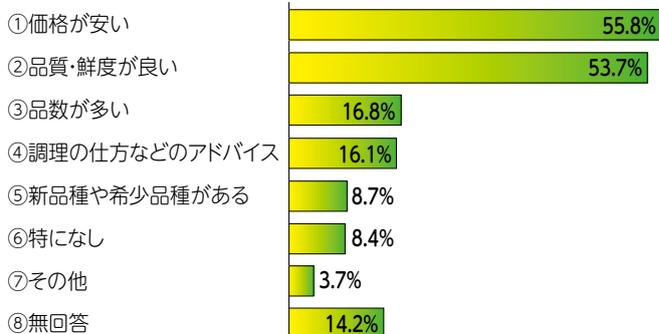
中央卸売市場の一般開放について

質問 中央卸売市場の一般開放を知っていましたか。また、何回ほど来場したことがありますか。



▽中央卸売市場の一般開放の認知度について、「知らなかったが行ってみたい」が44.7パーセントと最も多く、次いで、「知っているが行ったことがない」が32.8パーセント、「知らなかったし、行くつもりもない」が15.4パーセントと続いています。

質問 一般開放にどのようなことを望みますか。



▽一般開放に望むものについて、「価格が安い」が55.8パーセントと最も多く、次いで、「品質・鮮度が良い」が53.7パーセント、「品数が多い」が16.8パーセントと続いています。

◎中央卸売市場一般開放「うんめ〜べ朝市」を開催しています 詳しくは、20ページをご覧ください。また、一般消費者向けに、関連棟の常時開放の手続きを進めています。準備が整い次第、広報うつのみやなどでお知らせしますので、ぜひ関連棟をご利用ください。☎中央卸売市場☎(637)6041
◎この特集についての問い合わせは、広報広聴課☎(632)2022へ。